

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年10月15日

【四半期会計期間】 第34期第2四半期(自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)

【会社名】 株式会社スリーエフ

【英訳名】 Three F Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中居勝利

【本店の所在の場所】 神奈川県横浜市中区日本大通17番地

【電話番号】 045(651)2111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 海老沢克恭

【最寄りの連絡場所】 神奈川県横浜市中区日本大通17番地

【電話番号】 045(651)2111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 海老沢克恭

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第33期 第2四半期 連結累計期間	第34期 第2四半期 連結累計期間	第33期
会計期間		自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日	自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日	自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日
営業総収入	(百万円)	12,149	11,084	22,434
経常利益	(百万円)	412	139	215
四半期純利益 又は当期純損失()	(百万円)	93	55	1,153
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	95	62	1,149
純資産額	(百万円)	5,283	4,022	4,015
総資産額	(百万円)	17,278	16,206	14,340
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり当期純損失金額()	(円)	12.35	7.27	152.30
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	29.7	24.2	26.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,017	2,139	924
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	178	338	227
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	231	320	481
現金及び現金同等物 の四半期末(期末)残高	(百万円)	2,175	2,265	785

回次		第33期 第2四半期 連結会計期間	第34期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日	自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	20.39	14.71

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業総収入には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。なお、当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）におけるわが国経済は、政府と日銀による経済・金融政策を背景に、企業収益と雇用情勢に改善の動きが見られるなど、緩やかな回復基調にあるものの、円安による原料・原油価格の上昇などの懸念材料もあり、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、消費者の節約傾向に加え、電気料金の値上げ、さらに4月から実施されました消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動のなか、企業間の競争激化により非常に厳しい経営環境が続きました。

このような環境の下、当社グループは「スリーエフらしさ」をビジョンとして掲げ、クリーンネスやフレンドリーサービス等の商売の基本を徹底するとともに、個店の立地や客層などについてストアカルテやポイントカードなどのデータを利用した分析を深め、必要とされる商品機能の洗い出しにより、地域・商圈に沿った品揃えを充実させることでコンビニエンスストアとしての基本を固めてまいりました。さらに、スリーエフチェーン全体のらしさを実現する取組みとしまして、2温度帯ケースおよびハイゴンドラ什器、青果什器などの導入により、チルド弁当の拡販やお客様のニーズに合わせた品揃えを充実させることで客層の拡大による売上の向上を図ってまいりました。また、カウンターコーヒーにつきましては、10年前から取組んでいるノウハウを活かし、品質にこだわった単一豆を使用し、1杯ごとにその場で挽いて淹れ立てを提供するコーヒーマシンを全店規模で導入しました。加えて、個店単位のらしさを強化する取組みにつきましては、前述の分析データを元に、鮮度にこだわった青果の強化店舗、本の強化店舗等の展開や、地域で評判となっているお店の人気商品や、その地域の独自商品をエリア限定で販売するなど、これまでにない売場提案により新たな来店動機を生み出す取組みを行ってまいりました。このように、チェーンらしさと個店らしさを高める商品の充実により、魅力ある品揃えを強化してまいりましたが、たばこの売上が引続き前年を下回ったほか、台風や低温など夏場の天候不順等が売上にマイナスの影響を与えました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業総収入は前年同期比8.8%減の110億84百万円となり、営業利益は同68.3%減の1億23百万円、経常利益は同66.3%減の1億39百万円、四半期純利益は同41.1%減の55百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は18億66百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加等によるものであります。

負債につきましては、18億60百万円の増加となりました。これは主に買掛金、預り金の増加等によるものであります。

純資産につきましては、6百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ14億79百万円増加し、22億65百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が89百万円となり、仕入債務及び預り金の増加等の要因により、21億39百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は20億17百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得による支出等により、3億38百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は1億78百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、ファイナンス・リース債務の返済による支出等により、3億20百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は2億31百万円の支出）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,707,095	7,707,095	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	7,707,095	7,707,095		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成26年6月1日～ 平成26年8月31日		7,707,095		1,396		1,645

(6) 【大株主の状況】

平成26年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)JMK瑞穂	東京都世田谷区玉川田園調布2-2-14	2,702	35.06
菊池 淳司	東京都世田谷区	384	4.99
中居 京子	東京都世田谷区	317	4.11
宇佐見 瑞枝	東京都大田区	264	3.42
(株)スリーエフ	横浜市中区日本大通17	132	1.71
スリーエフ従業員持株会	横浜市中区日本大通17	115	1.49
(株)みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	東京都千代田区大手町1-5-5 (東京都中央区晴海1-8-12晴海アイランド トリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	108	1.41
中居 勝利	東京都世田谷区	105	1.36
菊池 瑞穂	東京都世田谷区	101	1.31
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	89	1.16
計	-	4,321	56.07

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 132,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,568,800	75,688	
単元未満株式	普通株式 6,095		
発行済株式総数	7,707,095		
総株主の議決権		75,688	

【自己株式等】

平成26年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社スリーエフ	横浜市中区日本大通17	132,200		132,200	1.71
計		132,200		132,200	1.71

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年6月1日から平成26年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,087	2,416
加盟店貸勘定	1,096	1,046
商品	273	309
貯蔵品	6	6
未収入金	735	898
その他	544	472
貸倒引当金	1	2
流動資産合計	3,742	5,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,832	1,925
リース資産（純額）	1,363	1,553
その他（純額）	885	1,095
有形固定資産合計	4,081	4,574
無形固定資産		
ソフトウェア	323	279
リース資産	-	94
その他	60	92
無形固定資産合計	384	466
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,047	5,932
その他	94	99
貸倒引当金	10	13
投資その他の資産合計	6,130	6,017
固定資産合計	10,597	11,059
資産合計	14,340	16,206

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,645	4,351
加盟店借勘定	25	71
リース債務	492	569
未払金	905	1,038
未払法人税等	42	52
預り金	2,321	2,997
賞与引当金	220	211
その他	42	30
流動負債合計	7,696	9,322
固定負債		
リース債務	1,086	1,317
役員退職慰労引当金	18	18
資産除去債務	863	867
その他	660	658
固定負債合計	2,627	2,861
負債合計	10,324	12,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,396	1,396
資本剰余金	1,645	1,645
利益剰余金	896	951
自己株式	86	86
株主資本合計	3,852	3,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	10
その他の包括利益累計額合計	8	10
少数株主持分	155	105
純資産合計	4,015	4,022
負債純資産合計	14,340	16,206

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業収入		
加盟店からの収入	5,245	4,875
その他の営業収入	1,751	1,685
営業収入合計	6,997	6,561
売上高	5,152	4,523
営業総収入合計	12,149	11,084
売上原価	3,746	3,270
営業総利益	8,403	7,813
販売費及び一般管理費	1 8,015	1 7,690
営業利益	387	123
営業外収益		
受取利息	40	39
還付加算金	9	-
その他	5	5
営業外収益合計	56	44
営業外費用		
支払利息	17	16
減価償却費	8	9
その他	5	2
営業外費用合計	31	28
経常利益	412	139
特別利益		
受取補償金	25	-
特別利益合計	25	-
特別損失		
減損損失	151	16
店舗閉鎖損失	112	29
その他	6	3
特別損失合計	270	49
税金等調整前四半期純利益	168	89
法人税、住民税及び事業税	20	29
法人税等調整額	51	0
法人税等合計	71	28
少数株主損益調整前四半期純利益	96	61
少数株主利益	2	6
四半期純利益	93	55

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	96	61
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
その他の包括利益合計	0	1
四半期包括利益	95	62
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92	56
少数株主に係る四半期包括利益	2	6

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	168	89
減価償却費	471	461
減損損失	151	16
店舗閉鎖損失	112	29
受取補償金	25	-
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	10	4
受取利息及び受取配当金	41	39
支払利息	17	16
加盟店貸勘定の増減額(は増加)	115	49
未収入金の増減額(は増加)	8	163
たな卸資産の増減額(は増加)	28	35
前払費用の増減額(は増加)	39	34
その他の流動資産の増減額(は増加)	2	37
仕入債務の増減額(は減少)	709	706
未払金の増減額(は減少)	208	160
預り金の増減額(は減少)	2	671
未払消費税等の増減額(は減少)	74	55
その他の流動負債の増減額(は減少)	37	24
その他	6	6
小計	1,820	2,123
利息及び配当金の受取額	41	39
利息の支払額	17	16
補償金の受取額	43	-
法人税等の支払額	12	7
法人税等の還付額	142	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,017	2,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	151
有形固定資産の取得による支出	146	478
敷金及び保証金の差入による支出	32	53
敷金及び保証金の回収による収入	223	152
無形固定資産の取得による支出	61	56
その他	162	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	178	338
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	207	264
配当金の支払額	22	0
少数株主への配当金の支払額	1	56
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	231	320
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,606	1,479
現金及び現金同等物の期首残高	568	785
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,175	1 2,265

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
従業員給料及び賞与	1,005百万円	945百万円
賞与引当金繰入額	241 "	211 "
運送費及び保管費	1,382 "	1,374 "
地代家賃	2,244 "	2,166 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
現金及び預金	2,478百万円	2,416百万円
預入期間が3か月を超える 定期預金	302 "	151 "
現金及び現金同等物	2,175百万円	2,265百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月18日 取締役会	普通株式	22	3.00	平成25年2月28日	平成25年5月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月10日 取締役会	普通株式	22	3.00	平成25年8月31日	平成25年11月1日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年10月9日 取締役会	普通株式	22	3.00	平成26年8月31日	平成26年11月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	12円35銭	7円27銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	93	55
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	93	55
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,574	7,574

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成26年10月9日開催の取締役会において、平成26年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 22百万円
1株当たりの金額 3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成26年11月4日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月8日

株式会社スリーエフ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水野雅史 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 郷右近隆也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スリーエフの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成26年6月1日から平成26年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スリーエフ及び連結子会社の平成26年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。